



子どもと一緒に図書館へ行こう！

お子さんと一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

「おひざでだっこのおはなし会」

赤ちゃん絵本や手遊び、わらべうたなどをたのしむ「おひざでだっこのおはなし会」を行っています。

時間：毎月第3土曜日11時～（20分程度）次回：2月21日

場所：じゅうたんの部屋

対象：3歳くらいまでのお子さんとその保護者



お知らせ

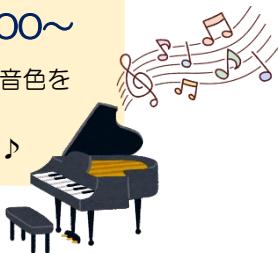
令和8年3月16日に日野町立図書館は30周年を迎えます。30周年を記念して色々なイベントを行います。ぜひご参加ください。

〈30周年前夜祭〉

2月28日（土）19:00～

町内の小学生の皆さんがあなたが音色を響かせてくれます。

小さいお子様もお気軽にどうぞ♪



〈30周年記念イベント〉

3月8日（日）

絵本作家 ザ・キャビンカンパニーによるワークショップ、獅子舞などを予定。

*詳細は図書館だより・図書館ホームページなどで今後お知らせしていくので楽しみに！

子育てコラム

寒い日が続いているが、子どもたちの元気な声が園内を暖かくしてくれます。年度の終わりが近づき、大きく成長した子どもたちの姿をうれしく、頼もしく感じているこの頃です。

年度の初めには不安な様子が見られていた子も、今では保育者との信頼関係ができ、自分の思いを出しながら安心して過ごしています。安心して過ごせるようになると、じっくりと遊べるようになったり、自分のしたいことをやってみようと行動範囲が広がったり、友達が楽しそうなことをしているな、と興味や関心が広がっていく様子が見られます。

園生活の一場面です。1歳児クラスで、給食前に自分でエプロンを付けようしている子がいました。自分でしたいという気持ちはあるけれど、なかなかうまくできなくて言った言葉が「せんせいあっちきて～！」。自分でしたい、でも助けてほしいけど…と、もがく心の葛藤がそんな言葉になったのだと思います。また、他の場面で、自分で服を着ようとする時もあれば、「やってー」と甘える時もあります。大人は『本当はできるのに』と思いつがちですが、子どもは、甘えたい気持ちを受け止めもらうことで、“またやってみよう”という力が湧いてきます。できる・できないではなく、その時々の思いに寄り添うことが大切ですね。

春は始まりの季節です。また一つ大きくなっていく子どもたちが心をときめかせ、いろいろなものと出会い、“やってみよう”と挑戦しながら、時には甘えながら、成長していく姿が楽しみです。



<公立保育園・こども園 子育て支援担当より>